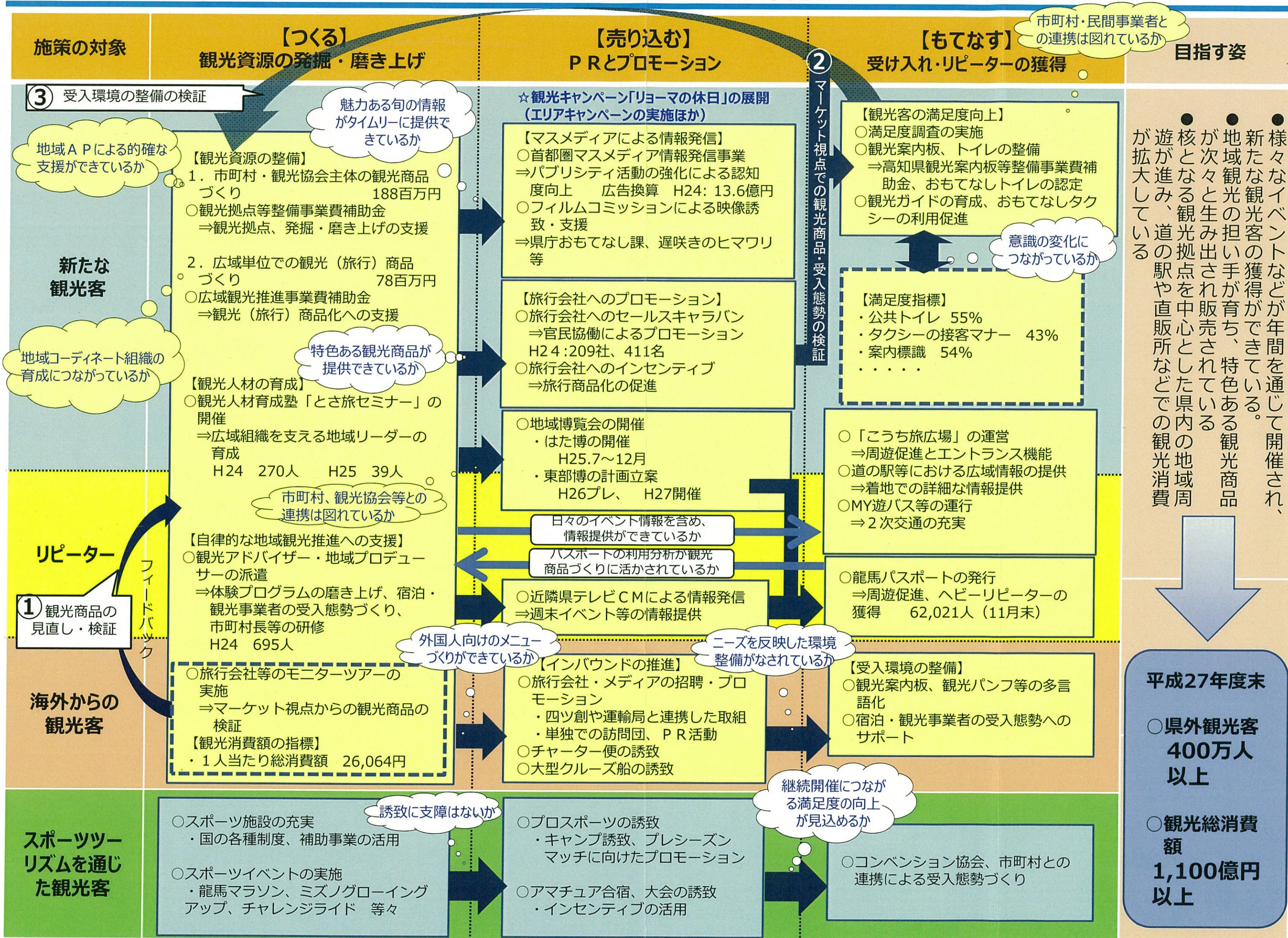
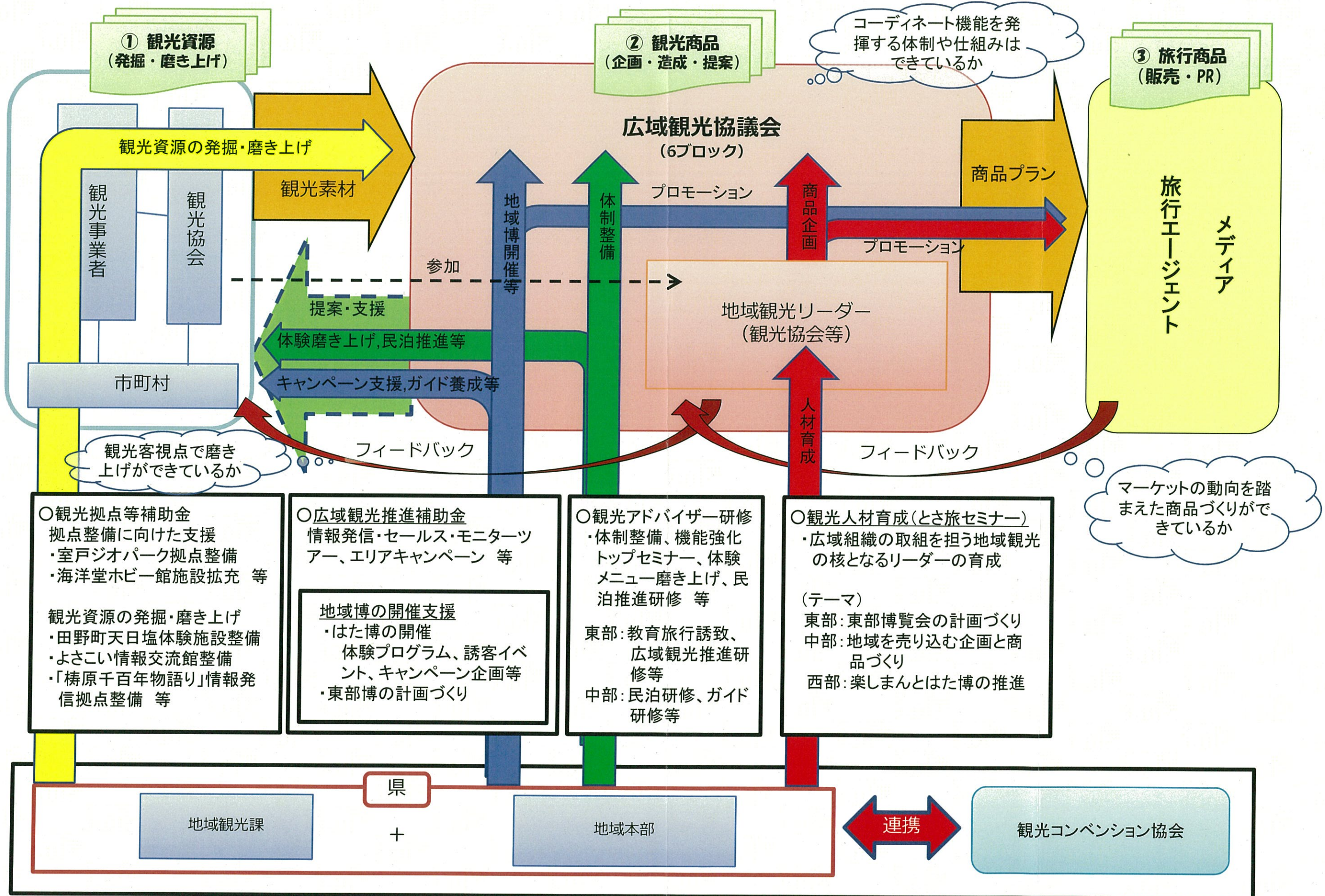


産業成長戦略観光分野の平成25年度の進捗状況等について

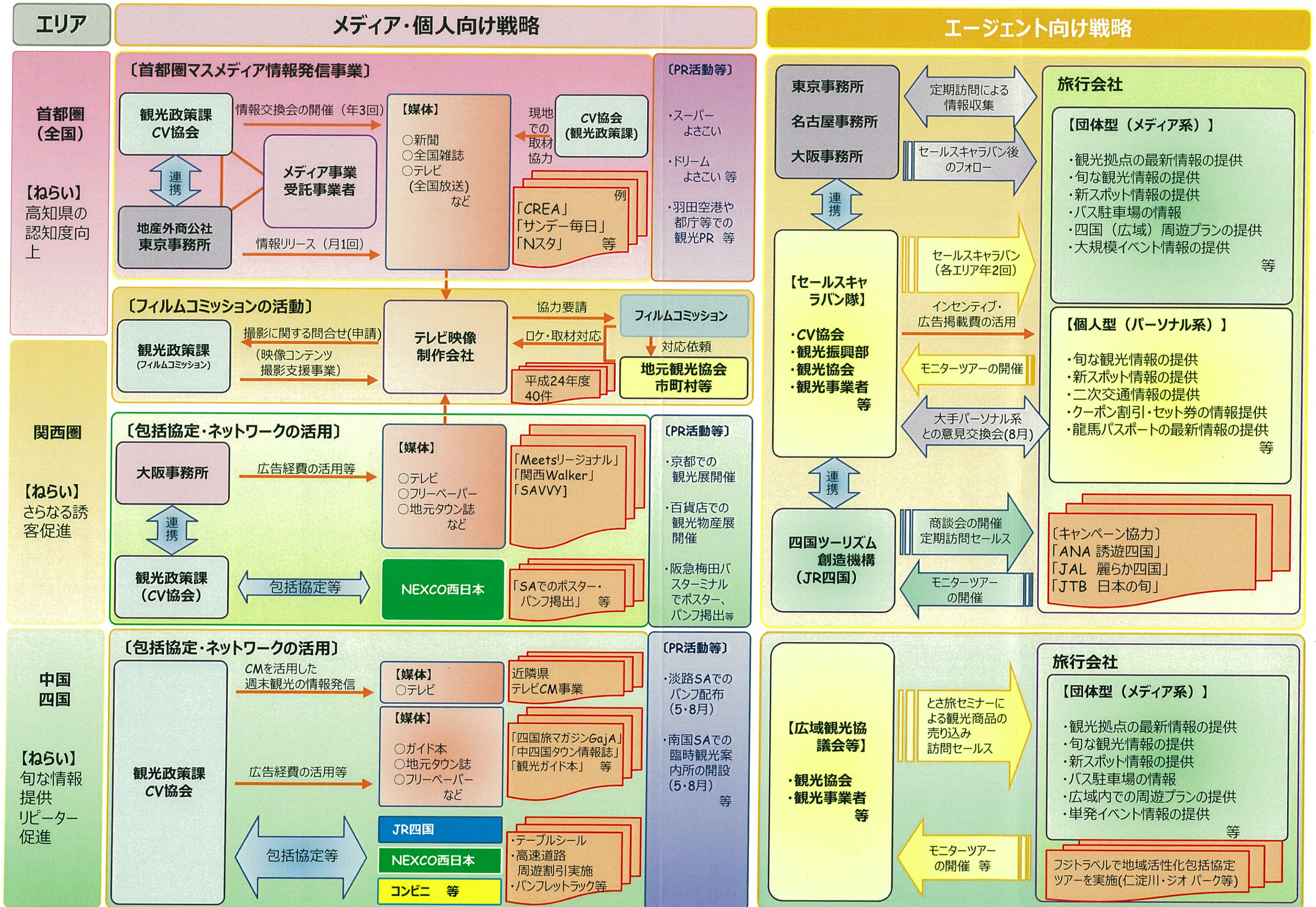
観光分野の施策連携の確認



観光分野の施策連携の確認 ～観光商品づくりを中心とした施策連携について～



観光分野の施策連携の確認 ～プロモーション戦略に関する施策連携について～



観光分野の4年後の目標達成に向けた確認

【4年後(平成27年度)】

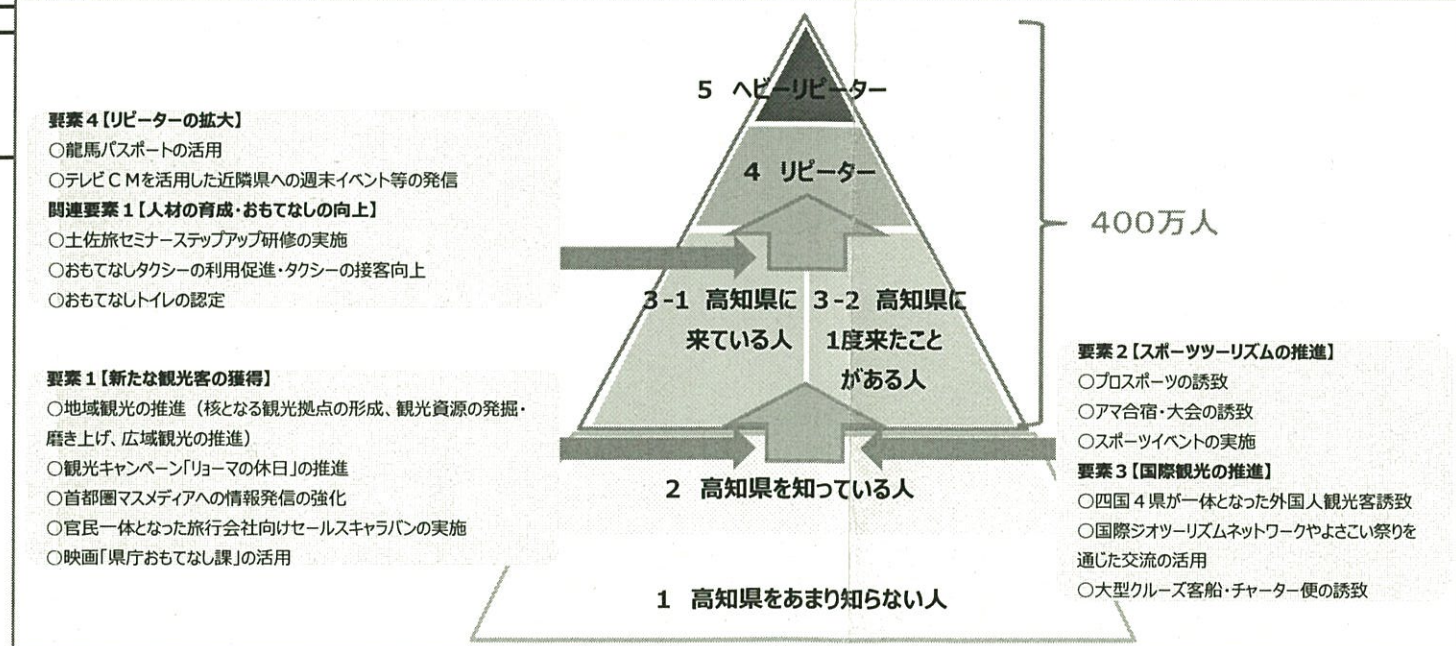
県外観光客入込数	目標設定時(H23)	388万人	→	直近(H24)	384万人	→	4年後の目標	400万人以上
観光総消費額		953億円	→		1000億円	→		1100億円以上

4年後の目標を達成するための要素と目標			要素に対する重要な施策・取組	H25年度の到達点	現状分析	H27(4年後)に向けた検証
要素	4年後の増加目標	直近の到達状況				
県外観光客入込数	+12万人 【388万人(H23)→400万人】	H24: 384万人	全国に通用する観光地づくり	+12万人 【388万人→400万人】	現時点の分析結果から、おおむね達成可能であると考えている	
要素1 新たな観光客の獲得	首都圏からの観光客数 +14.5万人 【30.5万人(H20)→45万人】	首都圏からの観光客数 H24: +18.5万人(49万人)	○地域観光の推進(核となる観光拠点の形成、観光資源の発掘・磨き上げ、広域観光の推進) ○観光キャンペーン「リョーマの休日」の推進 ○首都圏マスメディアへの情報発信の強化 ○官民一体となった旅行会社向けセールスキャラバンの実施 ○映画「県庁おもてなし課」の活用	首都圏からの観光客数 +21.5万人 【30.5万人→52万人】		
要素2 スポーツツーリズムの推進	+2万人 【H24からの新規入込客数】	H24: +1.3万人(1.5万人泊)	○プロスポーツの誘致 ○アマ合宿・大会の誘致 ○スポーツイベントの実施	+1.5万人		
要素3 国際観光の推進	+1.6万人泊 【1.6万人泊(H22)→3.2万人泊】	H24: +0.2万人泊(1.9万人泊) <*下記別表参照>	○四国4県が一体となった外国人観光客誘致 ○国際ジョウツーリズムネットワークやよさこい祭りを通じた交流の活用 ○大型クルーズ客船・チャーター便の誘致	+0.8万人泊 【1.6万人泊→2.4万人泊】		
要素4 リピーターの拡大	+15万人 【50万人(H22)→65万人】	H23: Δ9万人(41万人)	○龍馬パスポートの活用 ○テレビCMを活用した近隣県への週末イベント等の発信	+7.5万人 【50万人→57.5万人】		
関連要素 人材の育成 1 おもてなしの向上	観光客満足度 「大変良い」「良い」の割合がH22のデータを毎年上回る(H22) ・宿泊先 77% ・食事・料理店 74% ・観光施設 75% ・観光施設の美化 72% ・公共トイレの快適性 57% ・案内標識 53% ・タクシーの接客マナー 46%	観光客満足度 「大変良い」「良い」の割合(H24) ・宿泊先 78% ・食事・料理店 79% ・観光施設 78% ・観光施設の美化 73% ・公共トイレの快適性 55% ・案内標識 54% ・タクシーの接客マナー 43%	○とさ旅セミナーステップアップ研修の実施 ○おもてなしタクシーの利用促進・タクシーの接客向上 ○おもてなしトイレの認定	観光客満足度 「大変良い」「良い」の割合がH22のデータを上回る		
関連要素 2 一人当たり観光消費額の増	+2,000円(1年で一人あたりワンコイン=500円の増) 【25,459円(H20)→27,500円】	H24: 26,064円	○龍馬パスポートの活用 ○滞在時間の延長につながる体験プログラム等の充実	+2,000円 【25,459円→27,500円】		

■考慮しておくべきマイナス要素
日中関係の冷え込みを起因とした訪日旅行需要の減退

(別表)
H25観光庁・宿泊旅行統計調査(外国人延べ宿泊者数)

	2012年 4~9月	2013年 4~9月	増減	対前年比
台湾	2,200人/泊	3,140人/泊	+940人/泊	142.7%
韓国	500人/泊	1,140人/泊	+640人/泊	228.0%
全体	5,500人/泊	8,100人/泊	+2,600人/泊	147.3%



観光分野の「さらなる飛躍へのポイント」の具体化の検討状況

【10年後(平成33年度)】

	目標設定時(H23)	直近(H24)	10年後の目標
県外観光客入込数	388万人	384万人	435万人以上
観光総消費額	953億円	1000億円	1300億円以上

さらなる飛躍へのポイント	検討状況	戦術の方向性
世界に通用する核となる観光拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・よさこい祭りの世界への発信 ・ジオパークの世界認定を契機とした国内外からの観光客誘致 ・食の強みを活かした誘客の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外イベントへの本県よさこいチームの派遣、海外からよさこい祭りへの招待など、よさこい祭りを通じた各国との相互交流を拡大し、外国人観光客の誘致促進を図る ・ツーリズムをテーマにした世界ジオパークネットワーク会議を定期的開催し、相互の情報発信や人的交流を通じて観光客誘致につなげていく
三日以上滞在できる質の高い観光地づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域博覧会の開催など各地域主体による観光資源の磨き上げ・周遊及び滞在の促進 ・龍馬パスポートを活用した周遊の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間や地域との協働により、地域の観光資源の磨き上げを行い、観光客に高い評価を得ている高知の「食」と地域の観光資源とを連携させたプロモーションを実施する ・地域博覧会の開催など地域の主体的な取組を支援するとともに、各広域の状況に応じた観光戦略を定め、体験・滞在型観光など広域観光組織を中心とした主体的かつ自律的な観光振興を促進する
国内ハブ空港などからのアクセシビリティの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・大型クルーズ客船の誘致 ・LCC(Low-Cost Carrier)誘致に向けた情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国内への寄港の増加が見込まれる大型クルーズ客船を誘致するため、外国クルーズ客船会社・船舶代理店へのプロモーション活動を強化する ・関西国際空港を拠点とするLCCの定期便を誘致する
県内交通アクセスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人旅客を対象とした四国内の全鉄道を利用できるきっぷの販売(ALL SHIKOKU Rail Pass) ・レンタカー活用策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道主要駅からの観光周遊バスの発着を目指す(例:MY遊バス、しまんと・あしずり号)
ヘビーリピーターの拡大(年に2回以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・龍馬パスポートを活用したリピーターの促進 ・年間を通じた満足度調査の実施とフィードバックによる受入態勢の充実 ・スポーツ(イベント、合宿、観戦)を契機にした高知ファンの拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに魅力をアップさせた次期パスポート発行により、高知ファンの囲い込み及びヘビーリピーター化を促進する ・新たなスポーツイベントの定着・拡大を図る
観光立県としての県民意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし活動の情報発信やセミナーの開催等による県民の総おもてなし活動の推進 ・幼少期から、地域を知り郷土を愛する心を育むための環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし活動の情報発信やセミナーの開催等により県民の総おもてなし活動を推進する

【概要・目的】

全国からの誘客の目玉となる観光拠点を中心とした県内の地域周遊が進み、観光消費が拡大することを目指して、核となる観光拠点の整備や観光資源の発掘・磨き上げをはじめ、地域の特色ある観光商品の造成や販売を通じた地域観光の担い手の育成や広域観光を推進する広域観光組織の機能強化に取り組む。

平成 24 年度の取り組みの成果等

成果

- ◆観光拠点整備事業において、「海洋堂ホビー館」に隣接する旧打井川小学校校舎の改修により、H25 以降、企画展示及び多目的スペースを活用した体験プログラム等団体客の受入が可能となった。
- ◆観光人材育成塾「とさ旅セミナー」に 270 名が参加し、周遊プランを造成した。地域自身が旅行会社等にセールスした結果、12 の旅行会社で商品化された。（朝日旅行、愛媛新聞旅行、リョービツアーズ、旅のたけだ屋、フジトラベルサービス、JR 四国、日本旅行赤い風船、近畿日本ツーリストメイト、JTB エース、ビッグホリデー、ホワイトベアー・ファミリー、農協観光）
- ◆エリアキャンペーンを通じて、各地で新たな観光商品が生まれ、旅行商品化に結びついた。（例：仁淀川地域の旅行商品化：読売旅行 5 プラン、阪急交通社 3 プラン、フジトラベル 5 プラン等、室戸ジオパークを巡るスペシャルジオツアーの旅行商品化 5 件等）
- ◆H25 エリアキャンペーンに向けた観光商品の造成（日本一の願掛け絵馬（嶺北）、BBQ 広場の充実、屋形船の増船（仁淀川）、よさこい情報交流館オープン、土佐の日曜市チケット（高知市）など）
- ◆地域コーディネート組織（広域観光協議会等）の機能強化を図る中で、地域主体で博覧会を実施しようという動きが出てきた。
 - 幡多地域：H25. 7～12 高知・西南地域観光キャンペーン「楽しまんと！はた博」の実施
 - 東部地域：平成 27 年度に地域博覧会を実施予定

課題

- ◆とさ旅セミナープランなど地域の観光商品のさらなる磨き上げと新たな観光商品づくり
- ◆地域コーディネート組織（広域観光協議会等）の状況に応じた組織機能の強化

平成 25 年度の取り組み状況

取り組み状況

- ◆核となる観光拠点の整備：新たな観光拠点の整備
 - 東部：室戸ジオパーク拠点施設の整備（26 年度竣工予定）基本設計・実施設計（建築主体工事）、建築主体工事着手
 - 中部・西部：新たな観光拠点の検討
- ◆エリアキャンペーン等に向けた観光商品づくり
 - 高幡エリアキャンペーン（H25. 7～12）海洋堂ホビー館リニューアル、梶原千百年物語り、四万十ポークどんぶり街道スタンプラリーなど
 - 四万十・足摺エリアキャンペーン（H25. 7～12）「楽しまんと！はた博」での体験プログラムの造成やイベントの磨き上げ、新たな観光商品づくり（グルメクーポン、宝探しゲーム、期間限定プログラム等）
 - 物部川エリアキャンペーン、室戸ジオ・高知東海岸エリアキャンペーン（H25. 10～26. 3）ドルフィンセンター、田野屋塩二郎等のリニューアル施設を中心としたキャンペーン企画の協議
- ◆観光人材育成塾「とさ旅セミナー ステップアップ研修」開催
 - 地域を売り込む取組（地域博覧会等）を通じて、地域の事業者等と連携し、観光商品づくりやセールスなどの取組を行う地域観光の核となるリーダーの育成を図る
 - ・対象者 各広域観光組織や観光協会の職員等 39 名
 - ・開催エリア 3 エリア（東部 9 名、中部 22 名、西部 8 名）
 - ・期間 平成 25 年 6 月～（26 年 2 月）エリアごとに各 7 回
 - ・内容 地域（3 エリア）の取組に応じてプログラムを企画
- セミナー 東部：6/13, 14, 28, 7/25, 11/25, 26
中部：6/13, 7/1, 2, 9/19, 11/25, 26
西部：6/24, 25, 11/5, 14, 1/16, 17（予定）
- はた博視察調査（東部・中部）8/22 成果発表会 2/18（予定）
- ◆地域コーディネート組織（広域観光協議会等）の機能強化
 - ・観光アドバイザーの活用による機能強化（5/27～29, 7/17～19, 9/26～27, 10/8～11, 10/22～24, 12/7～8）
 - ・とさ旅セミナーによる地域リーダーの育成（6/13～）
 - ・地域博覧会の開催を通じた機能強化
- 「楽しまんと！はた博」開催、東部地域博覧会開催に向けた準備

課題

- ◆とさ旅セミナープランなど地域の観光商品のさらなる磨き上げと新たな観光商品づくり
- ◆地域コーディネート組織（広域観光協議会等）の状況に応じた組織機能の強化

平成 26 年度の主な取り組み（予定）

- ◆核となる観光拠点の整備
 - 新たな観光拠点の整備
 - 東部：室戸ジオパーク拠点施設の整備（26 年度竣工予定）
 - 中部：三宝山施設（香南市）の観光拠点化の検討
 - 西部：新たな観光拠点の検討
- ◆地域人材の育成による魅力的な観光商品づくり
 - ・旅行会社の商品造成責任者等を招聘し、マーケット動向や最新の旅行トレンドを学ぶ講演及び意見交換の開催（年 3 回程度）
 - ・各広域ごとに旅行会社の専門家等を招聘し、地域リーダーを交えて特色ある商品造成を行う取組や教育旅行の受入態勢整備を支援（年 6～9 回程度）
 - ・県及びコンベンション協会が広域観光支援チームを構成し、広域観光組織の商品造成等をサポート
- ◆地域コーディネート組織（広域観光組織）の機能強化
 - 各組織の状況に応じた機能強化や体制整備への支援
 - ・地域人材の育成による組織の機能強化
 - ・地域博覧会の開催を通じた組織、機能の強化
 - 東部地域博覧会開催に向けた準備
 - 「楽しまんと！はた博」後の誘客促進
 - ・コンベンション協会との連携によるプロモーションやセールス活動等の実施

【目指すべき姿（平成 27 年度末）】

- ◆地域の誘客の目玉となる観光拠点が整備されることで、そこを目指して全国から多くの観光客が訪れるとともに、広域エリアで観光拠点を中心とした地域周遊が進み、県下各地で観光消費が拡大している
- ◆核となる観光拠点の整備 県内 7 か所
- ◆地域観光の担い手が育ち、特色ある観光商品が次々と生み出されている
- ◆地域資源を観光に活用する取組が進んでいる
- ◆県内の地域周遊が進み、道の駅や直販所などでの観光消費が拡大している
- ◆県内各広域エリアで作られたプランが旅行商品化される
- ◆観光産業を担う人材が育成される（人材育成塾の参加者 200 名/年）
- ◆観光ガイド団体の会員数が増加するとともに、レベルアップとガイドメニューの充実が図られる
- ★一人当たり観光消費額 H20：25,459 円→H27：27,500 円

平成 25 年度の到達点

★一人当たり観光消費額 H20：25,459 円→H25：27,500 円

直近の成果（アウトカム等）

- ◆核となる観光拠点の整備
 - ・東部：室戸ジオパーク拠点施設整備事業（H23～24 基本計画策定、H25 基本設計・実施設計・工事着手、H26 完成）
 - ・中部・西部：新たな観光拠点の整備について検討に着手
- ◆観光人材育成塾「とさ旅セミナー ステップアップ研修」開催 参加者計 39 名
- ◆地域コーディネート組織（広域観光協議会等）の機能強化 「楽しまんと！はた博」の実施、東部地域博覧会開催に向けた準備

【概要・目的】

これまでの博覧会の開催を通じて培った広報・セールス活動のノウハウを生かしながら、旅行マーケットの動向を踏まえつつ、ターゲットにあわせた効果的な広報やセールス活動を展開していく。

平成 24 年度の取り組みの成果等

成果

- ◆「リョーマの休日」の推進
「志国高知 龍馬ふるさと博」(~H24.3.31) 終了後の県観光を効果的に PR するため、観光キャンペーン「リョーマの休日」を推進。季節ごとに地域の魅力を発信するエリアキャンペーンを企画し、地域の観光関係者などとともに、首都圏、関西圏、近隣県などを対象にした旅行会社向けセールスキャラバンを実施した結果、
・室戸ジオパークや仁淀川など新たな観光素材の旅行商品化が実現し、県内各地域への誘客が進んだ
・「龍馬パスポート」の取得を目玉とする新たな旅行商品化が実現した
⇒ 歴代 3 位となる約 384 万人の県外観光客数を達成
- ◆「龍馬パスポート」を活用した県内周遊・リピーターの促進
・「龍馬パスポート」利用者数：30,297 人 (H24 年度)
・県外利用者の割合：72%
⇒ 想定 6 倍を超える利用、県外からの誘客にも効果を発揮
- ◆首都圏等のマスメディアでの情報発信
全国における県観光の認知度を向上させるため、首都圏等のマスメディアへの情報発信を強化
・メディア露出 33 件 (TV16 件、雑誌 6 件、新聞 3 件、ラジオ 1 件、WEB7 件)
⇒ 広告換算で約 13 億 6,400 万円の露出効果

課題

- ◆各地域や関係団体との更なる連携強化によるプロモーションの実施
- ◆キャンペーンの県内、県外に向けた効果的な広報の実施
- ◆旅行商品化を視野に入れた次年度エリアキャンペーンの企画、検討

平成 25 年度の到達点

- ★リピーターの数 +7.5 万人【50 万人→57.5 万人】
- ★首都圏からの観光客数 +21.5 万人【30.5 万人→52 万人】

平成 25 年度の取り組み状況

取り組み状況

- ◆「リョーマの休日」の推進
24 年度に引き続き、「わざわざ行こう！志国高知へ」をキャッチフレーズに、観光キャンペーン「リョーマの休日」を実施
- ◆エリアキャンペーンの実施
県内各地域への誘客を図るため、季節ごとの地域の魅力を盛り込んだエリアキャンペーンを企画、実施
・「高知市」「仁淀川」「嶺北」エリアキャンペーン (4/1~9/30)
・「四万十・足摺」「高幡」エリアキャンペーン (7/1~12/31)
・「室戸ジオパーク・高知東海岸」「物部川」エリアキャンペーン (10/1~3/31)
- ◆「龍馬パスポート」を活用した県内周遊・リピーターの促進
・地域イベントをスタンプ対象として新たに設定 (4/1~)
・黒パスポートのプレミアム特典を拡充 (4/1~)
・特典施設数約 460 に拡充 (9/1~)
- ◆官民一体となった旅行会社向けセールスキャラバンの実施
【25 年度下半期向けキャラバン】
・東京、名古屋 (5/13~14) ・大阪【JR 四国商品説明会】(5/21)
・福岡、広島 (6/4~5) ・大阪、岡山 (6/25~26)
・松山、高松 (7/4)
【26 年度上半期向けキャラバン】
・東京、名古屋 (10/3~4) ・大阪、岡山 (10/17~18)
・福岡、広島 (11/7~8)
【四ツ一創四国観光商談会】
・東京 (10/23) ・名古屋 (11/20)
- ◆首都圏等のマスメディアを活用したパブリシティ活動
県外事務所や地産外商公社と連携し、首都圏等のマスメディアを通じた全国への情報発信を展開
・メディア各社を集めた情報交換会等の実施 (5/10, 7/8, 7/25, 9/2, 11/15, 1/14 (予定), 2/28 (予定))
・県庁でのプロモーション検討会議 (6/3, 10/11)
- ◆テレビ CM を活用した近隣県への情報発信の強化
・四国 3 県と岡山県を対象に、毎週木曜日の 18 時台に 30 秒のテレビ CM を放送し、週末の県内でのイベント情報等を発信 (5/9~)
- ◆映画「県庁おもてなし課」を活用したプロモーションの実施
・全国の映画館 (285 館) 等でロケ地ガイド等を配布 (約 26 万部)
・東京スカイツリー (4/20, 21)、羽田空港 (5/11) での PR
・阪急百貨店 (うめだ本店：4/10~16)、京急百貨店 (横浜：4/24~30) 等での催事を活用した PR
- ◆新たな誘客戦略の検討・展開
26 年度以降の誘客戦略について、「リョーマの休日」推進アドバイザー会議など、観光関係者の意見を踏まえつつ検討
・アドバイザー会議の開催 (5/8, 6/7, 8/2, 2 月上旬 (予定))
・パーソナル系旅行会社との意見交換会 (8/5~7)
・『「高知家の食卓」県民総選挙 2014』の実施 (投票 12/25~1/20, 発表 3/9)

課題

- ◆「食」を前面に出した効果的な誘客プロモーションの実施

平成 26 年度の主な取り組み (予定)

- ◆「リョーマの休日～高知家の食卓～」の推進
26 年度以降の誘客戦略に基づき、「食」を前面に出したプロモーション活動を推進する
・春 (3~5 月)：【O】美味しい休日×【Y】やすらぎの休日
・夏 (6~8 月)：【O】美味しい休日×【A】アクティブな休日
・秋 (9~11 月)：【O】美味しい休日×【R】ロマンの休日
・冬 (12~2 月)：【O】美味しい休日×【M】学びの休日
・通年：食資源 (街路市、ご当地グルメ、体験プログラムなど)
・食の総選挙の結果を掲載したパンフレットの配布 (4 月~)
・『第 2 回「高知家の食卓」県民総選挙』の実施 (12 月 (予定))
- ◆「龍馬パスポート II」による周遊・リピーター対策
新たな上位ステージを設けるなど、より県内での周遊を楽しんでいただくため、現行パスポートを 4 月からリニューアルし、スタート。
- ◆首都圏等のマスメディアを活用したパブリシティ活動
・旬の「食」をテーマにしたメディア情報交換会等の実施 (年 4 回以上)
・三大都市圏からのメディアの取材誘致
・ブロガー等を活用した SNS による高知の「食」の情報発信
- ◆官民一体となった旅行会社向けセールスキャラバンの実施
食の総選挙の結果等を踏まえた旅行商品化が実現するよう提案していく
・東京、名古屋、大阪 他
・四ツ一創四国観光商談会 (東京 他)
- ◆近隣県に向けた「食」のイベント等の情報発信の強化
・テレビ CM を活用した「食」イベント等の情報発信
・ターゲットにあわせた「旬の食」特集の掲載など、旅行情報誌とのタイアップ

【目指すべき姿 (平成 27 年度末)】

- ◆ターゲットを明確にした観光プロモーションが継続され高知県の認知度が向上する
- ★リピーターの数 H22:50 万人→H27:65 万人
- ★首都圏からの観光客数 H20:30.5 万人→H27:45 万人

直近の成果 (アウトカム等)

- ◆「龍馬パスポート」の利用者数：63,340 人 (12 月末現在)
- ◆旅行会社向けセールスキャラバン旅行会社出席者 (上期)：117 社、265 人 (下期) 126 社、330 名
- ◆首都圏等のマスメディアでの情報発信：メディア露出 42 件 (TV15 件、雑誌 6 件、新聞 8 件、WEB13 件) (12 月末現在)

分野： 観光分野

テーマ：おもてなしの向上（関連要素1）

【概要・目的】

県民挙げてのおもてなし気運の醸成をはかるとともに、きめ細やかな観光情報の提供や交通の利便性の向上など、観光客の快適性を高めるため、ハード・ソフトの基盤整備に取り組む。

平成 24 年度の取り組みの成果等

成 果

- ◆観光ガイド組織の立ち上げに向け、観光ガイドセミナーへ参加するなど観光ガイド連絡協議会との連携が生まれた（大月町）
- ◆ガイドの意識や質の高さが評判となり、県外から頻りに視察が訪れた（室戸市観光ガイドの会）
- ◆“おもてなしトイレ”の認定を行うことで、おもてなしのトイレが拡がるとともに、気運の向上につながった（認定トイレ：529 件（3/31））
- ◆タクシー、ハイヤーの接客向上を目指した取り組みにおいて、タクシー利用者からの聞き取りや車内搭載ハガキ等の調査結果をタクシー業界にフィードバックすることにより、改善を必要とする乗務員のみへの指導にとどまらず、事業所全体で改善に取り組む動きが見られ始めた。
- ◆広域観光案内板を設置したことで、周遊観光への誘因の一助となった。（にこにこ館（いの町））

課 題

- ◆ガイド団体の技術の向上
- ◆ガイド団体の新たな立ち上げを支援しすそ野を広げる
- ◆タクシードライバーの質とおもてなしタクシーの認知度の向上及び利用促進

平成 25 年度の取り組み状況

取り組み状況

- ◆観光ガイドの育成、技術の向上
 - ・観光ガイド連絡協議会での連携等に向けた意見交換（5/27：第3回総会）
 - ・地域別研修会（西部：7/30、東部：10/12、中部：2/7（予定））
 - ・おもてなしセミナーの開催（12/1 参加者 113 人）
- ◆おもてなしの気運の醸成
 - ・映画に関する取材等によるマスコミ等を通じた啓発
 - ・おもてなし県民会議の開催（7/19）
 - ・おもてなしトイレ認定事業募集および既認定トイレ再チェック（認定箇所：574 箇所（合計）、再チェック：308 箇所（12/31 現在））
 - ・高知空港での横断幕等による歓迎やパンフレット配布（8/8～8/11 など計 20 日（予定））
 - ・おもてなし一斉清掃の実施（10/11）
 - ・おもてなしセミナーの開催（12/1 参加者 113 人）【再掲】
- ◆きめ細やかな観光情報の提供
 - ・「とさてらす」での観光案内
 - ・映画「県庁おもてなし課」ロケセットでの観光案内（4/20～9/23）入場者：35,010 人
 - ・映画「県庁おもてなし課」ロビー展の開催（9/25～3/31（予定））
 - ・映画「県庁おもてなし課」高知県庁ロケ地巡りの開催（11/22：15 名、12/1：50 名、1/26、28、2/22（予定））
 - ・臨時観光案内所を設置しパンフレットの配布や観光案内を実施（GW・盆休み期間等：南国 SA、淡路 SA、高知城周辺、大型客船「ばしふいっくびいなす」内（8/10）、土佐の豊稔祭（10/5～6、中央公園）、ねんりんピック（10/25～10/29）、カワムトオープン（11/28～12/1）、龍馬マラソン（2/16（予定））、プロギア（3/14～16（予定））
 - ・タクシー車内に観光パンフレット専用ラックを設置（5/21～）
- ◆県内の観光地を結ぶ移動手段の確保
 - 「おもてなしタクシー」（観光ガイドタクシー）の利用促進
 - ・大型外国客船来港時に専用レーンを設置（4/23、5/9） ・「龍馬パスポート」への参画（9 月 1 日～）
 - ・「楽しまんと!はた博」に合わせたタクシー新規旅行商品の造成、販売（10/1～）
 - ・ドライバー新規認定（11/20 72 人）、更新認定（2 月（予定））
 - タクシーの接客向上を目指した取り組み
 - ・調査員による降車客からの聞き取り（高知駅、高知空港、イオン高知、中村駅）、車内搭載専用ハガキ等による意見受付とその調査結果を事業者へフィードバック（4～3 月（予定））
 - ・タクシードライバーおもてなしマインド表彰（2 月（予定））
- ◆観光基盤の整備
 - 県外観光客に対し満足度調査（アンケート調査）を実施
 - ・大型客船乗船者への聞き取り調査（4/23 サンプル数：51）
 - ・満足度調査の実施および事業者へのフィードバック（サンプル数 4～12 月：1,172、1～3 月（予定））
 - ・置き型アンケート調査の実施（通年 実施場所：とさてらす）
 - 市町村が設置する観光案内板等の整備などへの助成：16 市町村、21 事業に交付決定（12 月末現在）
 - 広域観光案内板等の設置等
 - ・広域観光案内板等の設置（1 基）移設（1 基）、その他誘導標識の設置等（予定）
 - ・外国人旅行者への滞在時無線 LAN の環境提供（Wi-Fi カードの配布、6/15・8/24、10/19 韓国チャーター便）
 - 多言語用観光パンフレット支援システムの利用向上：コンベンション協会、貿易協会会員に案内

課 題

- ◆県民挙げてのおもてなし気運の醸成に向けた情報発信

平成 26 年度の主な取り組み（予定）

- ◆観光ガイドの育成、技術の向上
 - ・おもてなしセミナーの開催
 - ・観光ガイド地域別交流研修会の開催、内容見直し（中部、東部、西部）
 - ・観光ガイド個別研修会の開催支援
- ◆おもてなしの気運の醸成
 - ・おもてなしセミナーの開催【再掲】
 - ・おもてなし一斉清掃の実施
 - ・おもてなしトイレ認定事業募集および既認定トイレの再チェック
 - ・高知空港での横断幕等による歓迎
 - ・おもてなし県民会議の開催、委員等見直し
- ◆きめ細やかな観光情報の提供
 - ・臨時観光案内所を設置しパンフレットの配布や観光案内を実施
 - ・外国客船やチャーター航空便来航時に観光ガイド案内やパンフレットを配布
 - ③ 映画「県庁おもてなし課」高知県庁ロケ地めぐりおよび観光案内
 - ③ 四国八十八ヶ所霊場開創 1200 年における渋滞対策の実施
- ◆県内の観光地を結ぶ移動手段の確保
 - ・「おもてなしタクシー」（観光ガイドタクシー）の認定
 - ・「おもてなしタクシー」（観光ガイドタクシー）の利用促進
 - ・龍馬バスポートへの参加継続ほか
 - ・タクシーの接客向上に向けた取り組み（降車客への聞き取り、ハガキ等による意見受付および事業者へフィードバック）
 - ・タクシー周遊プランの情報発信
- ◆観光基盤の整備
 - ・県外観光客満足度調査の実施および関係事業者へのフィードバック
 - ・広域観光案内板等の設置
 - ・市町村が設置する観光案内板等の整備などへの助成
 - ・多言語用観光パンフレット支援システムの利用促進
 - ③ 外国人旅行者への Wi-Fi 環境の整備

【目指すべき姿（平成 27 年度末）】

- ◆県民発意によるおもてなしが県内に拡がり各地で活動が見られる
- ◆ホスピタリティを感じる観光客が増加し、リピーターにつながる
- ◆観光ガイド団体の会員数が増加するとともに、レベルアップとメニューの充実が図られる
- ◆高知県観光ガイド連絡協議会の事務局体制が確立する
- ◆核となる拠点エリアにおいて、一元的に地域の観光情報を収集発信する観光案内所が整備されている
- ◆おもてなしタクシーの認定ドライバーが増加する
- ★観光客満足度調査の各調査項目において「大変良い」、「良い」と回答した割合が H22 の値を毎年上回る

平成 25 年度の到達点

★観光客満足度「大変良い」「良い」の割合が H22 のデータを上回る

直近の成果（アウトカム等）

- ◆映画「県庁おもてなし課」ロケセット入場者 35,010 人。アンケート結果によると、県外からの入場者のうち、映画が高知県を訪れたきっかけに、「大いに関係する」または「まあまあ関係する」と応えた割合は 74.5%。ガイド等の案内が好評であり、周遊やリピーター確保に貢献した。
- ◆タクシー降車客からの聞き取り等の調査結果フィードバックすることにより、聞き取り開始当初（H24 年 12 月）と比較して大幅な改善がみられる。
- ◆多言語用観光パンフレット支援システムへの ID 申請数 37 件（12/31 現在）。

分野：観光分野

テーマ：スポーツツーリズムの推進（要素2）

【概要・目的】

スポーツツーリズム推進のため、プロスポーツやアマチュア合宿・大会の誘致、地域密着型のイベント開催など通年を通じた取り組みを図る。

平成24年度の取り組みの成果等

成果

- ◆スポーツツーリズムの推進による成果
⇒約14,900泊（新規入込客数）
- ⑨ミズノグローイングアップリーグの開催（U-18 サッカー大会）
- ⑨コグウェイ四国
- ⑨西日本高校女子ソフトボール高知合宿
- ⑨韓国小中学校硬式野球部（イチョン市、ソウル市）
- ⑨高校弓道合同合宿
- ⑨京都大学硬式野球部合宿
- ⑨高知龍馬マラソン
- ⑨四万十・足摺無限大チャレンジライド
- ⑨プロ野球プレシーズンマッチ4試合
- ⑨日本陸上競技連盟ジュニア強化合宿

課題

- ◆プロ野球1軍による2次キャンプ誘致及びプレシーズンマッチの継続開催
- ◆アマチュアスポーツ合宿誘致の更なる拡大（特に室内競技）
- ◆スポーツツーリズムの推進に必要な施設整備

平成25年度の到達点

★スポーツツーリズムの推進による新規入込客数1.5万人

平成25年度の取り組み状況

取り組み状況

- ◆庁内PT(プロジェクトチーム)検討会の開催(5/8)
〔観光振興部、財政課、政策企画課、南海地震対策課、公園下水道課、スポーツ健康教育課、県観光CV協会〕
- ◆施設整備計画の策定、受入体制の充実
- ◆WG(ワーキンググループ)の立上げ(合宿等の誘致に向けた情報交換・収集)
H24:7WG ⇒ 14WG
- サッカー:4/5,4/22,4/23,5/9,6/10,7/3,8/28,9/19
- 野球:5/20,6/7,7/5,7/11,8/5,8/20,9/3,10/15
- ラグビー:4/10,7/9,11/10
- サイクリング:5/1,6/19,8/7,9/18,11/26,12/9
- ⑨バスケットボール:4/17,4/23,5/7,5/20,6/12,7/4,11/8
- ⑨ドッジボール:4/12
- ⑨フットサル:4/12,4/16
- ⑨サーフィン:5/23,6/5,6/19,7/10,9/4
- ⑨トライアスロン:5/29,6/4
- ⑨バドミントン:5/15
- ⑨スポーツチャンバラ:6/17,11/11,11/19
- ◆プロスポーツの誘致活動
 - ・定期的な訪問によるプレシーズンマッチ等の開催やキャンプ誘致
 - プロ野球チーム 12球団訪問(延べ25回)
 - プロサッカーチーム 4チーム訪問(延べ5回)
⇒東京ヴェルディ、アルビレックス新潟、徳島ヴォルティス、セレッソ大阪
 - JBL(ジャパンバスケットリーグ)東芝ブレイブサンダース訪問(延べ2回)
 - ラグビートップリーグチーム 2チーム訪問
⇒NTTドコモ、NTTコミュニケーションズ(延べ2回)
- ◆アマチュアスポーツの誘致活動
 - ・ミズノU-16強化フェスティバル IN 高知継続開催に向けた協議 10/9
 - ・高知県ドッジボール協会との合宿等誘致に向けた協議 4/12
 - ・高知県サッカー協会とのフットサル合宿等誘致に向けた協議 4/12,4/16
 - ・高知県バスケットボール協会との合宿等誘致に向けた協議 4/23,5/2,5/20,6/12,7/4
⇒7/8 関西学院大学、天理大学、7/18 立命館大学、同志社大学、京都産業大学、8/5 立命館大学、同志社大学、京都産業大学 12/12 天理大学
 - ・高知県バドミントン協会との合宿等誘致に向けた協議 5/15
 - ・全国高等学校女子硬式野球連盟との大会誘致に向けた協議 5/13,6/3,7/30
 - ・全日本サーフィン連盟との大会等誘致に向けた協議 10/22
 - ・高知県ハンドボール協会との合宿等誘致に向けた協議 12/4

課題

- ◆プロ野球1軍による2次キャンプ誘致及びプレシーズンマッチの継続開催
- ◆女子プロゴルフ PRGR プロギア・レディスカップの継続開催

直近の成果(アウトカム等)

- ◆スポーツツーリズムの推進による成果(H25.4月~12月)⇒ 10,900泊
- ・ミズノU-16強化フェスティバル IN 高知2013開催(4/1~2、160泊)
- ・ラグビートップリーグ(NTTドコモレッドハリケーンズ)合宿(4/25~5/2、420泊)
- ・女子プロ野球春季キャンプ及びリーグ戦開催(4/3~4/14、770泊)
- ・ミズノグローイングアップリーグ IN 黒潮(7/24~26、1,057泊)
- ・第48回全日本サーフィン選手権大会(8/22~25、4,690泊)
- ・高等学校女子硬式野球高知大会(9/14~16、280泊)
- ・女子旅トワイライトラン IN 高知城(10/5、63泊)
- ・コグウェイ四国(10/11~14、255泊)
- ・オリックスバファローズ1軍秋季キャンプ(10/31~11/16 球団関係544泊、来場者3,100人)

平成26年度の主な取り組み(予定)

- ◆庁内PT、WGの開催
 - ・新競技団体、市町村、旅館組合、施設管理者を加え実施
 - ・施設整備に関する協議
- ◆プロスポーツの誘致
 - プロ野球キャンプの誘致
 - ・オリックスバファローズ1軍春季キャンプ
 - ⑨西武ライオンズ1軍春季2次キャンプ、秋季キャンプ
 - ・西武ライオンズ2軍春季キャンプ
 - ⑨阪神タイガース1軍春季2次キャンプ
 - ・阪神タイガース1軍秋季キャンプ
 - ・韓国高陽ワンダース春季キャンプ
 - ・韓国LGツインズ秋季キャンプ
 - プレシーズンマッチの開催
 - ・国内6球団による開催
 - Jリーグキャンプ誘致
 - ⑨アルビレックス新潟、セレッソ大阪、徳島ヴォルティス、ファジアーノ岡山
 - 女子プロ野球春季キャンプ、リーグ戦誘致
 - プロゴルフトーナメント
 - ・カシオワールドオープンゴルフトーナメント
 - ・PRGR プロギアレディスカップ
- ◆アマ合宿・大会誘致
 - ・関西における合宿誘致商談会開催
 - ・社会人及び大学等の合宿誘致増
 - ・韓国学生野球等の合宿誘致増
 - ・ラグビートップリーグ合宿誘致
 - ・バスケットボールトップリーグ合宿誘致
 - ・女子硬式野球大会誘致
 - ・ミズノカップ等サッカー大会誘致(U-16,U-18)
 - ・スポーツチャンバラ合宿誘致
- ◆スポーツイベントの開催等
 - ・サーフィン知事杯の開催支援
 - ・女子旅トワイライトラン IN 高知城
 - ・四万十・足摺無限大チャレンジライドの開催支援
 - ・第3回高知龍馬マラソンの開催支援
- ◆2019 ラグビーワールドカップのベースキャンプ誘致に向けた取り組み
 - ・ワールドカップ組織委員会訪問(情報収集及び会議出席)
 - ・ワールドカップ開催地訪問及び誘致プロモーション
- ◆2020 東京オリンピック、2021 ワールドマスターズゲーム合宿誘致に向けた検討
 - ・関係部署による取り組み内容等検討

【目指すべき姿(平成27年度末)】

- ◆様々なスポーツイベントが開催され、新たな観光客の獲得ができています
- ★スポーツツーリズムの推進による新規入込客数2万人

- ・阪神タイガース1軍秋季キャンプ(10/31~11/21 球団関係600泊、来場者9,800人)
- ・LGツインズ秋季キャンプ(11/5~11/29 球団関係1,440泊、来場者110人)
- ・中土佐町タッチエコトライアスロンの開催支援(11/10 251人、169泊)
- ・高知県知事杯サーフィン大会 IN 平野(11/23 231人、県外180人 180泊)
- ・ラグビートップリーグ(NTTドコモレッドハリケーンズ)合宿(11/17~11/21、272泊)
- ・カシオワールドオープンゴルフトーナメント(11/28~12/1 17,204人)
- ・大阪ガス硬式野球部春季キャンプ(1/16~1/24)予定
- ・NOMO ベースボールクラブ春季キャンプ 2/21~2/25)予定
- ・第2回龍馬マラソン(2/16)予定
- ・第2回四万十・足摺無限大チャレンジライド(3/1~2)予定
- ・プレシーズンマッチ(阪神タイガース、オリックスバファローズ、西武ライオンズ、千葉ロッテマリーンズ)3/1~2 予定
- ・ヨコハマゴム PRGR プロギアレディス(3/14~16)予定
- ・シティライト硬式野球部春季キャンプ(3/16~3/21)予定

分野： 観光分野

テーマ： 国際観光の推進（要素 3）

【概要・目的】

主要なターゲットである東アジアを中心に、各国の特性と本県の強みをマッチングさせたきめ細かい戦略により、本県への誘致活動を進めるとともに、観光案内版の多言語化や観光事業者への研修を実施するなど受入態勢の充実を図る。

平成 24 年度の取り組みの成果等

成果

◆国別戦略に基づく誘致活動

H22 年 15,970 人/泊→H24 年 18,690 人/泊 (17.0%増)
H23 年 12,880 人/泊→H24 年 18,690 人/泊 (45.1%増)

<台湾>

国際旅行博での問い合わせ 7 割増など、これまでより知名度が向上。春 (4 月、3 回)、秋 (11 月、4 回) のチャーターによる誘客 849 名

<韓国>

チャーター便就航に向けた動き開始 (H25 年度以降チャーター便 (180 席乗り) × 5 回)

<香港>

日本送客 NO.1 の旅行会社との協議

<中国>

安徽省旅遊局、旅行会社等との観光交流に向けた動き

<シンガポール>

大手旅行会社によるドライブツアーの実施 (年 3 回)

<共通>

国際ジオパークツーリズムネットワークの構築

課題

- ◆チャーター便等による団体客の誘致
- ◆高松・松山等の定期便による個人客の誘致
- ◆ジオパークネットワークの確立
- ◆各国のマーケット特性にあった観光資源の発掘
- ◆インバウンド対策の課題の洗い出し
- ◆関係事業者との情報共有とインバウンド対策への熟度向上
- ◆四国 4 県連携によるプロモーション活動の推進

平成 25 年度の取り組み状況

取り組み状況

◆国別戦略に基づく誘致活動

<台湾>

- ・台湾外交部亜東関係協会黄秘書長ほかの高知視察 (4/25~27)
- ・台湾新竹県庁・舞踊団のよさこい祭りへの誘致協議 (4~7 月)
- ・日本の観光・物産博 2013 への高知県ブース出展 (5/15~17)
- ・中華航空広島支店長・高松出張所長との協議 (5/28)
- ・台湾ウェブサイト夏キャンペーン開始 (7 月~)
- ・台湾新竹県庁・舞踊団のよさこい祭りへ視察・参加 (8/9~10)
- ・遠東航空とのチャーター便協議 (9 月~)
- ・台湾旅行会社・メディア招請事業 (9/4~5)
- ・「運送きのヒマワリ」放送協議、実施 (9/23~27)
- ・台北国際旅行博四国ブース出展、よさこい派遣 (10/18~21)
- ・台湾旅行会社・航空会社・台湾政府・台湾南投県等訪問 (11/18~22)
- ・台湾行政院経済建設委員会訪問団 (団長：副大臣) 来高・視察 (11/22)
- ・台湾ランタンフェスティバル、よさこい参加 (2/14 予定)

<韓国>

- ・順天湾国際庭園博覧会高知県ブース設置 (4/20~7/20)
- ・t-way 航空とのチャーター便協議 (5 月~)
- ・韓国観光公社大阪事務所高知視察・協議 (5/23~24)
- ・航空会社への訪問、協議 (5/30、アジアナ他 3 社訪問)
- ・旅行会社との商談会 (5/30、8 社参加)
- ・全羅南道観光文化交流協定 10 周年記念事業 (5/31~6/2)
- ・商談会参加旅行会社の高知モニターツアー (6/15~17 2 社参加)
- ・韓国ウェブサイト夏キャンペーン開始 (7 月~)
- ・韓進観光担当者との協議、モニターツアーの実施 (8/18~20)
- ・ジンエアーとのチャーター便協議 (9/5~6)
- ・韓国ウォーキング・トレッキング関係者招請 (11/7)
- ・韓国全羅南道政府関係者来高・道政府観光担当者県内視察 (11/20~22)

<香港>

- ・旅行会社、航空会社とのチャーター便に向けた協議 (7/18)
- ・EGL ツアーズ賞社長講演会開催 (9/18)
- ・チャーター便実施に向けた EGL ツアーズとの協議 (9/18)

<中国>

・特に動きなし

<シンガポール>

- ・四国ドライブツアー (4/12~15、5/10~13、11/18~21)
- ・知事シンガポール出張 (JNTO 及び旅行会社訪問・高知県 PR) (11/3~6)

<共通>

- ・四国インバウンド実務者会議 (4/18)
- ・サン・プリンセス船長、日本代理店社長の高知視察・協議 (4/23)
- ・コスタ・ビクトリア日本代理店との協議 (5/9)
- ・ロイヤル・カリビアン社日本代理店との協議 (6/11)
- ・LCC 航空会社との協議 (7/11)
- ・クルーズ客船日本代理店等への会社訪問、誘致協議 (8/5~6、10/22)
- ・ジオパークツーリズムネットワーク交流会議 (9/10)
- ・クルーズ客船会社との全国協議会参加 (9/20、10/3、10/22、11/27)
- ・ALL SHIKOKU RAIL PASS 利用モニターツアー (10/6~11、11/10~15)
- ・四国インバウンドフェア 2013 モニターツアー・商談会 (10/6~10、11/17~21)
- ・INAP2013 高知会議に伴う海外旅行会社招請 (11/20~22)
- ・日本抜刀連盟高知支部との協議 (11/26)
- ・レンタカー活用旅行会社招請ツアー (12/9~13)

◆受入態勢の整備

- ・外国客船受入協議会の実施 (5/16、7/1、1 月、3 月)
- ・観光案内板、誘導標識、パンフ等の整備 (6 月~)
- ・国際観光サポーター会議 (7/1)

課題

- ◆国別プロモーション戦略の見直し
- ◆高松・松山等の定期便による誘客
- ◆チャーター便等による誘客
- ◆ジオパークネットワークを活用した交流
- ◆関係事業者との情報共有とインバウンド対策への取組強化
- ◆四国 4 県連携によるプロモーション活動の推進
- ◆LCC、クルーズ客船の誘致

平成 26 年度の主な取り組み (予定)

◆国別戦略に基づく誘致活動

<台湾>

- ・高松定期便を活用した誘客の拡大
- ・中華航空、遠東航空等とのチャーター便運航に向けた協議
- ・台湾ランタンフェスティバルへのよさこい参加
- ・台湾舞踊団による高知よさこい祭り参加受入
- ・台湾向け高知県観光ウェブサイト等を活用した情報発信
- ・機内誌、雑誌、新聞等への高知県広告掲載

<韓国>

- ・tway 航空とのチャーター便継続に向けた協議
- ・機内誌、雑誌、新聞等への高知県広告掲載
- ・大規模観光イベントへの出展、よさこい派遣

<香港>

- ・旅行会社 (EGL)、航空会社とのチャーター便の定期化に向けた協議

<中国>

- ・安徽省友好提携 20 周年記念事業 (訪問団派遣及び受入)

<シンガポール>

- ・四国ドライブツアー受入

<共通>

- ・海外旅行会社、航空会社、船会社等への旅行商品造成要請
- ・チャーター便、LCC、クルーズ船誘致活動
- ・海外の世界ジオパークとの連携強化

◆高知県の強みを活かした新たな誘客活動

- ・高知県の強みである「おもてなし」、「体験」を最大限活かした精神的満足度の高い体験型観光商品の発掘、磨き上げ、造成
- ・造成した商品の海外旅行会社等への売込み、メディアへの PR、モニターツアーの実施 (シンガポール、香港等やクルーズのオプションツアーなど)
- ・ツアー決定時の県内観光施設等の斡旋・調整、歓迎体制の事前調整、ツアー催行中の随行サポート
- ・上記を一体的なパッケージとして取り組める組織体制の整備

◆受入態勢の整備

- ・観光案内板、誘導標識、パンフ等の整備
- ・外国客船受入協議会の実施
- ・国際観光サポーターによるワークショップ開催

【目指すべき姿 (平成 27 年度末)】

- ◆チャーター便が定期的に運行され、外国人観光客が訪問しやすい環境が整う
- ◆観光地や宿泊地等での外国人の受入環境整備が充実する
- ◆他県に真似できない本県ならではの「おもてなし観光」が定着、拡大する
- ★外国人延べ宿泊者数 H22:1.6 万人泊→H27:3.2 万人泊
(高知県の強みを活かした新たな誘客活動による延べ宿泊者数:1,000 人泊)

平成 25 年度の到達点

★外国人延べ宿泊者数 H22:1.6 万人泊→H25:2.4 万人泊

直近の成果 (アウトカム等)

- ◆韓国・ジンエアー・チャーター便就航 (4/29~5/1:113 名、6/15~17:125 名、8/24~26:142 名、10/19~21:176 名)
- ◆韓国・ティーウェイ航空チャーター便就航予定 (12/31~1/2:184 名、2/8~10 予定)
- ◆台湾・遠東航空チャーター便就航 (北九州空港とのプログラムチャーター。10/28~:92 名、11/13~:79 名、11/21~:85 名、11/29~:71 名)
- ◆H25 (4~9 月) 観光庁宿泊旅行統計調査 外国人延べ宿泊者数 台湾:H24 2,200 人/泊 → H25 3,140 人/泊、韓国:H24 500 人/泊 → H25 1,140 人/泊
- ◆サン・プリンセス寄港 (4/23:1,538 名、6/7:1,140 名)、コスタ・ビクトリア寄港 (5/9:2,104 名、9/20:929 名)